履

15画

訓 はく　音 リ

なりたち 人の形を表した尸と復との会意字。人が復路（かえり道）に就こうとして、はき物を〝はく〟ことを表した字。また、〝はき物〟のこと。また、〝足でふむ〟意味から転じて、〝ふみ行う〟意味に用いられる。

いみとじゅくご
▼履物。木履…木でできた履物。ぽっくり。
▼ふみ行う。実行する。履行…約束などを実行すること。例契約履行
履修…きめられた学科を実際に学習すること。
履歴…その人が今まで経て来た学校・職業・賞罰など。経歴。例履歴書
弊履 特別なよみかた↓
草履

よみかた さんこう

複

【5年】

14画

訓 とめる　音 フク

なりたち 同じ物が二つ重なる意味の夏と、衣との会意形声字。裏地がついて布が重なっている衣類（和服では〝あわせ〟という）を表した字。転じて、〝二つ以上・入り組んでいる〟意味に用いられる。

いみとじゅくご
▼二つ以上。かさなる。かさねる。
複数…二つ以上の数。反単数
複眼…小さな目がたくさん集まってできている目。とんぼなどの昆虫に見られる。
複合…二つ以上のものが合わさって一つになること。例複合語（二つ以上の単語が結びついて一つの言葉になっているもの。たとえば「絵日記」「林間学校」など。）
重複…同じ物事が二つ以上、重なること。
複雑…物事が入り組んでいること。
▼もう一度する。
複製…本物そっくりに作った美術品。また、それを作ること。

よみかた 複式・複写・複線・複利・単複

舞

15画

訓 まう・まい　音 ブ

なりたち 足の裏の形をかたどった夂と、その対称形の夂と、無との会意形声字。舛は左右の両足をふんばった形で、これから〝まい〟をまおうとしていることを表す。〝まい・まう〟こと。

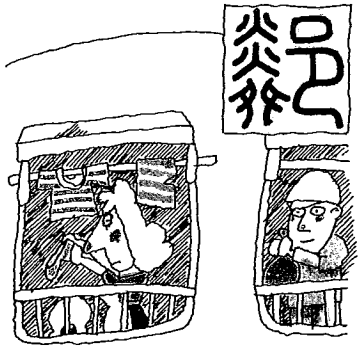
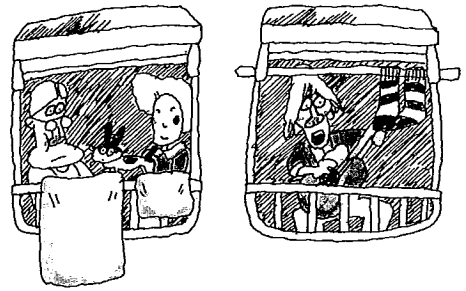
いみとじゅくご
▼まい。まう。おどる。
舞踊…おどり。まい。例日本舞踊
舞踏…ダンス。西洋式のおどり。例舞踏会
舞楽…舞をともなう音楽。特に雅楽のこと。
舞曲…おどりに用いられる音楽。また、舞踏の形式に従って書かれた曲。
舞台…❶舞踊や演劇などを行う場所。普通はまわりより高くしつらえてある。❷活動が行われる場所。華やかな活躍の場。用例幕末の江戸を舞台にした時代劇。
剣舞…詩吟にあわせて、剣をふるっておどる舞。
▼おどらせる。思いのままに動かす。
鼓舞…鼓を打って舞うことから、励ますこと。

隣

16画

訓 となる・となり　音 リン

なりたち 本字は鄰で、邑（ゆう）の意味の阝と、粦（田のうね）の意味の粦との会意形声字。隣り合わせているうねのように〝となり合わせの邑（村または町）〟を表した字。転じて、〝となり・となりの家〟の意味。

いみとじゅくご
▼となり。
隣家…となりの家。
隣人…となりの人。近所の人。
隣国…となりの国。
隣席…となりの席。
近隣…となり近所。
▼となりあう。
隣接…となりあって接していること。例隣接地帯

よみかた 隣近所・両隣